

新「松山おもてなし大使」に聞きました

心から松山を好きになれた



チームA
小笠原 茉由さん

松山の印象は？

自然や歴史ある建物が多いのが魅力的ですね。お寺をじっくり見たことが無かったので、石手寺は特に印象的でした。また松山鮓もおいしかったので、他のメンバーにも振る舞いたいです。

大使としての意気込みは？

地元の人が本当に松山を好きだということが伝わりました。そのおかげで、私も心から松山を好きになれたので、その気持ちを多くの人に広げられるようがんばりたいです。

温かい松山にずっといたくなかった



チーム4
大森 美優さん

松山の印象は？

お城や温泉、宿泊地、おいしい食べ物などが街の中心に集まり、1日で堪能することができて良かったです。地元の人にも温かく、ずっと松山にいたくなかったです。

大使としての意気込みは？

もっと松山に詳しくなって、いろいろな所を案内できるようにになりたいです。またファンの人にも松山の魅力をPRして、その輪を広げていきたいです。

松山の魅力を全国にPRしたい



チームK
向井地 美音さん

松山の印象は？

たくさんのおもてなしをしていただき、心からこの街に住みたいと思えました。市内に楽しめる観光施設が数多く、松山鮓やミカンなどおいしい食べ物もあって素晴らしいです。

大使としての意気込みは？

松山の魅力を全国にPRしていきたいです。また地元の人にも、(名前の「みおん」にかけて)「ミカン」といえば私、と言ってもらえるようにがんばりたいです。



石手寺でお遍路さんの話を聞くメンバー



放生園で足湯に浸かりリラックス

これまで「松山おもてなし大使」を務めてきた菊地あやかさんと名取稚菜さんがAKB48を卒業したため3月5日、新たな「観光おもてなし大使」に同メンバーの小笠原茉由さん、大森美優さん、向井地美音さんが任命されました。

メンバーは松山城や石手寺、道後商店街などを巡り、俳句にも挑戦。最後に市役所で野志市長を訪問、任命書とたすき、名刺が授与されました。野志市長は「松山の魅力を広くPRし、おもてなし日本一に向けた取り組みを未永く応援してほしい」と話しました。



野志市長から任命書を授与

小笠原さん、大森さん、向井地さんのサイン色紙を抽選で各3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 シティプロモーション推進課「AKB48プレゼント」係
はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、サイン色紙を希望するメンバー(1通につき1人まで)、広報紙への意見を書いて、4月28日(木)(必着)までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

読者プレゼント



小笠原さん



大森さん



向井地さん

恋人の聖地サテライト北条鹿島 ペア写真×俳句大会

参加者募集 4月13日(水)までに申し込みを

恋人の聖地サテライトである北条鹿島にちなみ、男女ペアで参加する写真×俳句大会を開催します。鹿島の自然を感じながら俳句を楽しんでみませんか。

日時 4月29日(金・祝) 12時30分～16時30分

会場 北条鹿島博物展示館(かしまーる)

内容 北条鹿島で、男女ペアで写真と俳句を作り、俳人・夏井いつきさんによる選句・発表会を行う▶必要なもの=写真を撮影し、メールでデータを送れる携帯電話など



玉環・寒戸島に架けられた大注連縄

※作品の著作権は主催者に帰属します

対象・定員 男女(親子、夫婦、恋人、友人など) 25組(抽選)

料金 無料(渡船料、駐車料金は別途必要)

申し込み 4月13日(水)までに、電話、ファクス、eメールで代表者の住所・電話番号、2人の氏名・年齢を観光・国際交流課 kanko@city.matsuyama.ehime.jp

問 観光・国際交流課
☎948-6555・FAX 943-9001



eメール申し込み用の二次元コード



鹿島に生息する野生のシカ



結婚式の前撮りの場所としても人気が高い

6556・問 観光・国際交流課 ☎948-6555・FAX 943-9001

全国に217カ所ある恋人の聖地のうち、コンセプトを生かした活動実績を挙げた自治体などが審査され3月1日、松山城二之丸史跡庭園の取り組みが「観光交流賞」に選ばれました。

今回の受賞は、結婚式の前撮りの場所として、年間500組以上が利用するほか、婚活イベントなどで活用されている点が評価されたもの。

同園は、日露戦争時のロシア人捕虜の男性と日本人女性看護師の名前が彫られたロシア金貨が発見され、国境を越えた恋物語の証として注目を集めるなど、恋人たちの憩いの場としての魅力が評価され平成25年10月、「恋人の聖地」として認定されています。

松山城二之丸史跡庭園 「恋人の聖地 観光交流賞」を受賞



野志市長から感謝状を受け取った本田頭取(左)

6556・問 観光・国際交流課 ☎948-6555・FAX 943-9001

松山城来場者の利便性と満足度を高めるため2月16日、(株)愛媛銀行から車いすとクツシヨンの寄贈を受け、野志市長から感謝状が贈られました。

今回の寄贈は、「ふるさと」の発展に役立つ銀行」という経営理念のもと、同銀行が行っている地域に貢献する活動の一つとして取り組んでいるもの。

同銀行の本田頭取は「松山城の来場者の利便性と満足度を高めるために役立ててほしい」と話し、野志市長は「松山城を訪れる足の不自由な人や高齢者など車いすを必要とする人のために有効に活用したい」と話しました。

松山城へ車いすを寄贈 (株)愛媛銀行に感謝状を贈呈